

令和7年度実践報告者一覧

別紙

No	テーマ	カテゴリ	発表の概要	報告者（敬称略）
1	措置入所児の成人施設移行へ向けての取り組み	地域支援・ 地域連携	重症心身障害児施設に措置入所していた A さんが、入所期間中に職員の支援、関係構築により医療的ケアを軽減することが出来た。また、関係機関と連携し就労継続支援 B 型に通所しながら成人施設移行に取り組んだ経過を報告する。	社会福祉法人埼玉医療福祉会 光の家療育センター 主任指導員・21年11か月 犬竹 佳久
2	母同伴のない通所を目指して ～医療的ケアのある方への支援～	その他	高等部は訪問学級で、通所後も医療的ケアのため母親が付き添っていた利用者様。母親の付き添い無しで日中活動に参加してもらうために行った支援やお母様の想い、この事例を通じて学んだことについてのご報告です。	社会福祉法人ささの会 多機能型事業所ぽとふ館 支援員・9年10か月 太田 綾菜
3	デジタルって何？	その他	障害者福祉業界での ICT 導入事例を発表します。 実践例として、議事録の AI 活用 (notebookLM) や記録 (ケアコラボ)・申請業務 (Appsheet) のデジタル化の紹介。 事務作業時間を削減し、利用者支援に充てる時間を生み出した効果と現場での活用報告を行います。	社会福祉法人清心会 さやか・総務部 12年6ヶ月/11年10ヶ月 浅見 秀俊 / 加藤 瑞香
4	欲求不満場面において不適切な表出が見られる中3男児への支援について	その他	要求が叶わない等の欲求不満場面に見られる課題行動に対して、その状況を整理するとともに、他職種と連携を図りながら支援を実施した。その結果、児童の不適切な表出にどのような変化が見られたかについて説明する。	国立障害者リハビリテーション センター 秩父学園 児童指導員・6年4か月 植田 萌衣

No	テーマ	カテゴリ	発表の概要	報告者（敬称略）
5	自立課題を通して広がる支援 ～Hさんの日中の過ごし方を考える～	その他	作業に取り組みたい気持ちはあるが、作業を続けることで気持ちが高揚し、体を激しく動かすことや他害につながる傾向がある方への支援として、本人のアセスメントを元に自立課題を作成し、日課を作るまでの取り組みをまとめました。	社会福祉法人戸田わかくさ会 障害者基幹相談支援センター コーディネーター・10か月 支援員・8年 松井 恭子
6	福祉サービスでは満たされない障害 当事者の希望を叶えるために	意思決定 支援	「私たちの住む地域に誰かと繋がりながら自分らしく居られる居場所が欲しい。」との利用者の声を受けて立ち上がった当事者会。同じ思いを持つメンバーが集まり共にゼロから作って来た奮闘の記録と実践をレポートいたします。	社会福祉法人日和田会 障害者相談支援センターなづな 相談員・3年8か月 新井 千鶴
7	「ねがい」をつなぐ職場実習	意思決定 支援	レイコさん（仮名）は、みぬま福祉社会のグループホームで暮らす仲間です。4年前から同法人の生活介護事業所「白岡太陽の家にじ」（白岡市）に利用しています。以前通っていた作業所で洋菓子作りに携わっていたことから、にじの洋菓子作りに関心をもち通うようになりました。期待に応えようと頭痛薬を服用しながら奮起していましたが、次第に笑顔が減り「頭が痛いと」と休むようになり、通所しても活気がありませんでした。何とか笑顔を取り戻したく、いろいろな話をしながらレイコさんの夢を聞きました。話を聞くなかでレイコさんには「にじの職員になりたい」というねがいがあることがわかりました。レイコさんのねがいを聞いて、職員はワクワクする夢と一緒に叶えようと職場実習の取り組みを始めました。	社会福祉法人みぬま福祉会 白岡太陽の家にじ 生活支援員・8年9か月 田邊 和実